



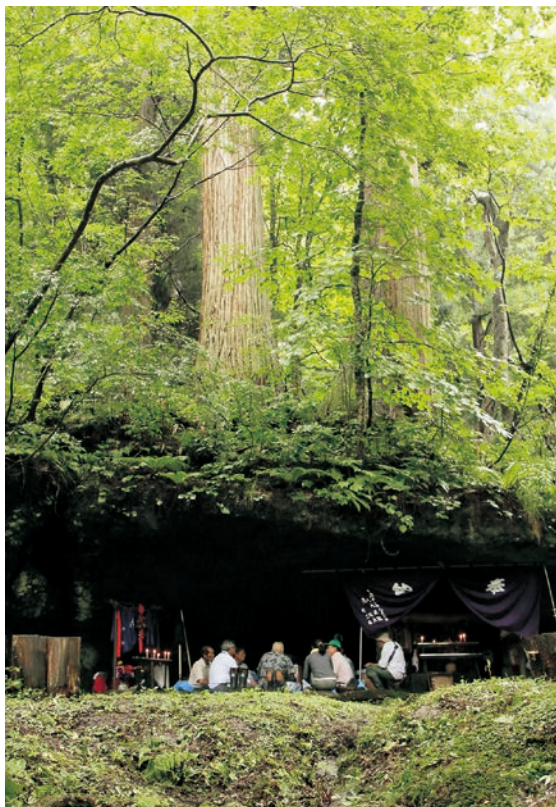
祝祭日には



を掲げましょう

# いまこそ集落創生

## 第9回 片貝地区



▲毎年7月24日に執り行われる岩円地蔵様の祭礼。  
岩穴の祠に集う様子は何とも幻想的。地区住民で実施する春時期と祭礼前日の一斉清掃が慣例となっている

町中心部から約4km、明安地区の東端である片貝地区。現在は約50世帯、170名程が暮らしています。片貝には、雨乞いのスポットとしても知られる岩円地蔵や広域に農業用水を供給する枡沢ダムがあります。

地区のシンボルともなっている岩円地蔵は、地区の東奥に位置しています。入口の鳥居をくぐると、そこはまるで別世界。巨木が立ち並ぶ参道は苔むし、200メートルほど進むと岩上に大杉がそびえます。その根に抱かれるような岩穴の祠に地蔵様が安置されています。水神様が祀られており、干ばつが続く時などには、他地区や町外からも多くの方が雨乞いに訪れて恵みの雨を願います。岩円とは「岩屋」、つまり岩の家を意味します。地蔵様が家として守ってきた幽玄で神秘的な森を、現在は地区の手で守り続けています。毎年7月24日に執り行わ

れる祭礼では、多くの地区の皆さんが岩穴の祠で膝を突き合わせ、自然の恵みに感謝します。

「水」とは深い関係にある片貝地区。今年8月に町を襲った豪雨では、片貝を含む東郷地域に大きな被害をもたらしました。岸新也区長は「倒木・転石により通行不能となった町道岩円線は、地区ですぐに復旧した。水害は大変だが、農業者や町にとって大切な資源である水とうまく付き合っていきたい」と話します。

「片貝も例に漏れず、若者や担い手の減少が著しい状況だが、少しずつ子どもは増えている」と岸区長は希望を持ちます。5年程前に途絶えた白山神社の祭りも、若者中心で復活しようという動きもあるよう。これからも片貝は潤いある地区を目指し、地区一丸となって活動していきます。

### 編集 幸記

▼今年も「山形ふるさとCM大賞」が12月17日(月)の午後7時から放送されます。YTS山形テレビ主催で19回目を迎えるご当地PR番組。今年は初心に帰って「金山杉」をテーマに、たくさんアイテムを登場させています。

▼広報担当になって初めて手にした一眼レフカメラ。ハマりにハマって、今では大切な趣味となりました。先日、自己研鑽も兼ねて「フォトマスタ―検定」なるものを受験。1月に出る結果が楽しみです。(吉本)

金山町の人口は、5,557人 (10月末現在)

男性 2,702人 (-1)  
女性 2,855人 (-11)  
世帯数 1,758世帯

▼10月の異動  
出生 2人  
死亡 8人  
転入 5人  
転出 11人